

## 厚労省 事例41 事業所トップへの「健康経営プレゼン」でアピール

### データヘルス計画 事例集



厚生労働省 保険局  
健康保険組合連合会  
平成27年1月

#### ●事例41 事業所トップへの「健康経営プレゼン」でアピール



事業所、労働組合、健保組合が協働することを柱に、健康経営を推進。事業主の社長に対し、「健康経営」のプレゼンを定期的実施していくことで、健保組合の課題を共有し、保健事業の実施に協力してもらえる環境と文化を構築する。まずは母体企業が実践し、その後グループ子会社に普及させるステップで展開する。

#### 事例41 コラボヘルスのステップ

- |                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| <b>Step 1</b> 健保組合は健康経営を学習する        | 1. 健保組合はデータヘルスに挑戦<br>2. 健康経営を学習し、重要性を認識し、健保組合内部の意思統一と方向性の明確化を図る |
| <b>Step 2</b> 合意形成 (1) コラボヘルスの推進    | 事業主・労働組合・健保組合が協働で、社員・家族の健康づくりをプランニングする                          |
| <b>Step 3</b> 司令塔機能の新設 (健康経営推進室・仮称) | 司令塔は、健康経営の推進と「宣言」に向けてのシナリオを明確化し、役員会などでプレゼンを行う。                  |
| <b>Step 4</b> 合意形成 (2) 経営トップとの合意    | 社長が強いリーダーシップを発揮し、健康経営の「宣言」を行う                                   |
| <b>Step 5</b> 健康経営の実践とグループ会社への普及    | まずは母体企業が実践しリーディングする。そして、グループ子会社に普及させる。                          |